

# ケチュア語のことわざ

——ペルー・クスコ地方を中心に——

青 木 芳 夫  
アンヘリカ・パロミーノ青木

## 一 はじめに

本稿は、南米ペルー・アンデス南部のことわざ (*refranes*) や (*dicijos*) を、同地方の代表的な土着言語であるケチュア語のまま紹介することをその目的とするものであり、また本誌第一〇号所収の拙稿「ケチュア語のなぞなぞ」の姉妹編に相当する。

したがって、本稿のことわざもまた筆者らが直接採集したのではなく、アンデス司牧研究所でケチュア語講師をつとめてきたケチュア語話者たちが記録したもの [IPA n.d.] を中心に、若干他のもの [Alvarez Quispe 1988] から補充し、再録したものである。また、ケチュア語の表記についても、前稿と同じく、一九七五年一〇月にペルー

政府により制定された正書法 (教育大臣令第四〇三三—七五号) のうちクスコプルーノ地方に関するものにほぼ準拠している<sup>(1)</sup>。

なお、イタリック体はスペイン語からの借用語である。

## 二 例題

① *Qasi runaga munanga mana munanga pisi p'unchay-pi wakchayanga.*

「怠け者は、望もうと望むまいとにかかわらず、数日にして貧乏になる。」

② *Hagay lomapi añas, uwihata usqayman kachariy kan-chamanta.*

「あそこの丘にスカンクがいる。困いから羊を早く逃がし

なれご。」

③ Llaqtaykiman purinmuqta gorpachanki, yargaqta mikhuchinki, mana p'achayogta p'achachinki, ch'akig-ta ukhachinki.

「あなたの村に来る人は泊めてあげなさい。お腹がすいていたら食くらせて。服がなかかったら着せてあげて。喉がかわらしたら飲ませてもらおう。」

④ Ama runamasiykita gawaychu ima ruwasgantapis uyallaykimanni kutimusunki.

「他人のちねうを批判するな。あなたの顔は良くない。」

⑤ Patanga ñapis ñapis ukhunqa mana ñapis.

「うわべは立派。中身は立派じゃない。」

⑥ Wiksa hunt'asqa, songo kusisqa wichaymanpis, u-raymanpis maygen warmiq qhepatapis.

「お腹が一杯なら心も浮き浮き。北に南に、美人の後を追う。」

⑦ Piwanmi purinki kaqllatagmi kanki.

「いつも誰と一緒に過ごすか、それによってあなたが何者なのか、分かる。」

⑧ Dius pagarasunki, supay apapusunki.

「神様はご丁寧に<sup>(3)</sup> 悪魔を殺さる。」

⑨ Sichus pisi pisimanta puririsun karuta chayasunchis. 「一歩一歩行くな、遠くまで罰を。」

⑩ Sichus kay pachapi anyanakusunchis chayqa, manan hanagpachapiga uyanchis Diusman gawaringachu. 「この世で喧嘩した、あの世で神様の顔回ちやせな。」

⑪ Mallkitaga huch'uychanmanta pacha allinta ramana, mana hinaga wist'uchá wiñanman, rakhuyaruspaga mañanan rectoman allehakuyta atikumanchu.

「木は小さいうちからしっかり枝打ちしておかなければ、ますます伸びない。生長してしまっただけでは直せなくなる。」

⑫ Picha allin mallkiman k'iraykun, allinta llanthunta chaskiykun.

「よい木にもたれかかった人は、よい木陰をもらえない。」

⑬ Wisq'asqa simimanga mana ch'uspigqa haykunman-chu.

「閉じた口の中には蠅も入れない。」

- ⑭ Mayuqa gaparin rumita apanuspa.  
「川が音を立てるのは、石を運んでいるからだ。」
- ⑮ Ama anchata achhuyyichu kanakuwagmi, nitaq anchata aygeriyichu chiriyawagmi.  
「火傷するほど近づかず、凍えるほど遠ざからず。」
- ⑯ Manas munaymanchu munawanaykita, aswanchá munayman cheqniwanaykita, cheqniyta tukuspa munawanaykipaq.  
「あなたに愛されたくない。それより嫌われない。嫌われないから愛された。」
- ⑰ Pin munayki nisunki, paichá waqachisunki.  
「あなたを愛しているとあなたに言う人こそ、あなたを泣かせ。」
- ⑱ Turupas astan rayku, qharipas rimaynin rayku.  
「角の立派なのが牡牛、雄弁なのが男子。」
- ⑲ Tutaraq hatariqtaga, Taytacha yanapan.  
「早起きする人を神は助ける。」
- ⑳ Ama anchata wichayman thogaychu uyallaykimantagmi kutimunga.  
「上じつばを吐くな。あなたの顔に落ちてくるか。」
- ㉑ Wakchakayllan mana tukukug.  
「食むだけは終わりが無い。」
- ㉒ Llank'ayta rikuspaga yanapakuy, mikhuyta rikuspataq ayqey.  
「働いている人を見かけたら、手伝ってあげなさい。食べている人を見かけたら、逃げなさい。」
- ㉓ Llank'ay allpaykita ama saykurispa, chaypin qori qolqe kashan.  
「自分の土地を一生懸命耕しなさい。そこに宝物がある。」
- ㉔ Wakin runakunaga kawsanku chimpankupi runa qhump'iynimanta.  
「向かいの人の汗で暮らす人もいる。」
- ㉕ Taytachapi iinki chayqa, runamasiykita khuyay.  
「神様を信じると隣人を愛しなさい。」
- ㉖ Para chayamun cheyqa lluyta apichan, mana pipas pakakunchu.  
「雨が降ったら、みんなを濡らす。誰も隠れられない。」
- ㉗ Qhepaypi rimaqqa llanthuywan rimachun: sichus pipas qhepanchispi rimakuwanchis manan yachaqpas tukunachu.

「私の後でしゃべる人は、私の影としゃべればいい。知らんやちねごう。」

②⑧ Purigmi kanchis nãnpitãq tupasuman : hayk' aqlla-pas muchuyman icha *desgraciãman* chayawaqtaq ama chayna kaychu mana walikuna.

「われわれはみんな歩いてくるから、どっかの道で出会いかもしれない。あなたもいつか路頭に迷ったり不幸な目に遭うかもしれない。だから、そんなにつれなくしないで。」

②⑨ Kanikug algoga manan muk'ukunchu. 「よく吠える犬は噛まない。」

②⑩ Hamp'atu laq'akamushan parangachã.

「蛙が転んだ。雨が降るぞ。」

②⑪ Iman kay pachapi mana tukukug tukukullangan.

「この世では、ちんこのものに終わりがあまる。」

②⑫ Qoripas goldepas tukukugllan wakcha kayllan mana tukukungachu.

「金の銀も終わりがあまる。貧乏だけだに終わりがなごう。」

②⑬ Qoyusqa uywataga manan kiruntaga qhawanachu.

「もらった家畜は歯を見ろな。」

②⑭ Wañukug ripukug hina kawsanaga.

「死すゑき者のように、去るゑき者のように、生きたちね。」

②⑮ Runamasiykita munay, gãpas munanas kanki.

「他人を愛しなごう。あなたも愛されるだろう。」

②⑯ Diusmi yachan ima ruwasqanta.

「神様は何でも知っている。」

②⑰ Aswan allinmi, huk urpilla makipi hap'iy, pachak pachak hap'inataga.

「数百羽の鳥よりも掌中の一羽の鳥。」

②⑱ Llullaq simimpiga, chegaq rimaypas Llullallaman-nan rikch'akun.

「嘘つきの人と言えば、本当の話でも嘘のように聞こえる。」

②⑲ Isnusqa mikhuykunaga, allin mikhuykunatan is-muchin.

「べつべつした食物は、まだごう食物を腐らせる。」

②⑳ Llaki mana llaki, llakilla nogapaga; gayna un chay llakigkani, gan rikunayrayku, kunantaq llakini ri kusgay rayku.

「悲しごう、悲しくなごう。私には悲しいごうばかり。昨日あなたに会いたくてつらかった。だけど今はあなたに会った

ためにごう。」

④① Sut'in rimagtan 'Taytacha yanapan.

「正直者を神様はお助けになる。」

④② Nawi rikun, songo munan.

「眼が見たら、心は欲しくなる。」

④③ Asichiwankin *acelgas* ch'aki qhatapi wiñaspa, *huertalalaypipas* wiñawaq qholla qhollalla mikhunay-paq.

「笑わせないで、アセルガ菜。そんな傾斜地に生えるなんて、それより私の畑に生えてくれたなら、採りたてを食べたいのだ。」

④④ Runtu mikhuy wallpaqa, chhuruntaña ruphachegti-ykipas kaqllapunin.

「自分の卵を食ってしまふ鶏は、嘴を焼かれても、止めないものだ。」

④⑤ Qanpataga ganllapunin, llapanchispataq Taytacha.

「あなたのものはあなたのもの。われわれみんなのものは神様のもの。」

④⑥ Ama pitapas qhawaychu, mana qhawanasyukita munaspaga.

「批判されたくないのなら、あなたも他人のことを批判し

なごい。」

④⑦ Wan'yumi aswan allin, qongqorchaki kawsaymanta-qa.

「誰だって生きるとも、死ぬほうがましだ。」

④⑧ Allinta muhuta akllay, rurun allin kananpaq.

「そへ稔ふおれたぬにせ、そへ種子を種ひなれご。」

④⑨ Llanck'aymi hampin, wakcha kaypa k'irinta.

「貧乏の怪我は、仕事が癒す。」

④⑩ Ama k'umuychu, mana chanin qhapagmanqa, golenwanmi ñawsayachispa uywamanraq t'igrasunki.

「邪悪な金持はほど顔せよごなごい。お金ひもなたの田をへんまおし家畜みたご働かせぬなごい。」

④⑪ Yachayta goway, nogataq hatunta rurasqayki.

「知識を身にしめたごい。私がおなたをへんまおし」

④⑫ Ama kikikimanta yuyayniykita mulphayachiychu, yachasqaykitapas turtichiychu kanay llant'aman tukchiychu.

「知識したものを自分のかごと粉々にごなごい。勉強したものを田裡おちたごい。薪のちごに燦え足おちたごい。」

④⑬ Allin ruwaytan sasachan, mana allintataqmi uman-

pi wiñachin, allwihina, ch'arwikunapaq.

「よいことはむじかしく考える。よくないことはすぐに頭の中にはびこる。アリエイでもつれた糸のように、自縄自縛になつてしまふ。」

⑤④ Ama runaq kawsaynimanta tapuykachakuspa puriychu.

「他人の生活について聞き歩きしてはいけない。」

⑤⑤ Llank'aqkunatan chegnipakun, yangamanta suwanin.

「仕事をする人を憎んだり、泥棒だと言つたりする人。」

⑤⑥ Chirillamantan chukchukun, makinkunata oqlakuspan q'anti mat'intin llapapaq k'arallisqa purin.

「ふるふる震えながら、手を組んだまま、額には皺を寄せ、恨みながら歩く人。」

⑤⑦ Purisganwanmi onqopakun: mikhuspapas sayk'unimi, t'ikata kaqlan ruphaypuwanpas naq'echin.

「歩いては病気になり、食へては疲れ、太陽にも花のように萎れてしまふ人。」

⑤⑧ Usqhayllamanni machuyaypun mana thaqniyoq runaga.

「のんびり屋じなう人は、すぐに年老む。」

⑤⑨ Hamaw'taq churinha kanman chaypas, mana chanoyoq purun runamanni tukupun.

「賢人の息子にせつても、中身の無い人間になつてしまふ。」

⑤⑩ Ama llulla, ama suwa, ama gella.

「嘘をつくなかれ、盗むなかれ、怠けるなかれ。」

⑤⑪ P'engachinan, khipukunata mana yupayta yachaspa, ch'askakuna yupay munagta.

「笑止千万なのは、キーブも読めないのに星の数を数えようとする者。」

⑤⑫ Mana wasimpi kamachikuy atiqqa, manan atinmanchu llaqta kamachiyta.

「家の中を治められない者にはせつして一村は治められない。」

⑤⑬ Challengakuna gelqankuman, hatun gochatag tullpu-kanman waranga wata gelqaspa, manan gelqayta tukunkumanchu runaq auyayninta.

「魚が文字を書いたなら、そして海がインキなら、千年かかつて書いても、人間の悪業は書き尽くせないであらう。」

⑤⑭ Llaqtaq simin, yayaq simin.

「民の声は、神の声。」

⑥5 Maypin allin kawsay, chaypin hatun liagta.

「よい暮らしのとこひこそ、大きな村。」

⑥6 Imaynatan munanki, chhaynallatataq munasunkiku.

「あなたが敬えば、あなたも敬われる。」

⑥7 Manchey manchakug, mana p'enkakug.

「臆病なくせ、恥知らず。」

⑥8 Karun purina, pisin qogawu.

「道程は遠く、食料はわずか。」

⑥9 Hug michiq, hug michina.

「一人の牧者に、一頭の家畜。」

⑦0 Askhatan kawsakurgan, allin kawsakug.

「長寿こそ、よき暮らこ。」

⑦1 Allpan kanki, allpamantagmi kutiykapunki.

「あなたは土である。また土に帰るであらう。」

⑦2 Allillamanta andas, t'urullamanta sento.

「神興はゆるり、気をつけて。聖者は泥でできている。」

### 三 おわりに

七〇余のことわざやいいまわしにすぎないが、そこから

何が読みとれるだろうか。

日本のことわざと同じ意味のものも散見できる。たとえ  
ば、④や②⑩などは「他人のふり見て、わがふり直せ」を連  
想させるし、⑦は「類は類を呼ぶ」、⑨は「千里の道も一  
歩から」、⑪は「鉄は熱いうちに打て」、⑫は「寄らば大樹  
の蔭」、⑬は「口は災いのもと」、⑰は「二兎を追う者、一  
兎を得ず」、⑱は「朱にまじれば、赤くなる」、⑳は「三  
つ兎の魂、百までも」と、それぞれ通じるところがある。

しかしながら、それよりも意外なのは貧困に関するもの  
の多さ(たとえば、⑪・⑫・⑬)であり、それに対して怠  
惰をいましめ勤勉が説かれる(①・⑱・⑲・⑳・㉑)一方、額  
に汗することなく、またたとえあくせく働いても一人だけ  
蓄財に励むことはさげすまれる(㉒・㉓・㉔・㉕・㉖)。アン  
デス地方の生活環境の過酷さはスペインによる征服・植民  
期の年代記作者も記録しているところであるが、アンデス  
民衆は相互扶助により乏しい物理的資源を平等に享受する  
ような生活様式を旨としてきた。このことは、本稿に再録  
したことわざの③・⑥・⑧・⑨・⑩・⑪・⑫・⑬・⑭・⑮・⑯  
そしてまた、乏しい中から盗むことは、なおさら非難され  
る(⑰・⑱)。反対に、乏しい中からほどこしを受けたな

ら感謝しなければいけないし(33)、一般に禁欲が説かれ  
る(42・71)。

また、ことばに関することわざも多い。「雄弁」が必ずしもネガティブなものとして受け取られていないこと(18)は興味深いが、一般におしゃべりであったり、嘘をついたり、おしゃべりや噂話に耳を傾けることは嫌われる(27・38・54・60)。行為と同様に、ことばにおいても、正直であることや禁欲であることが尊重されている。

結局、アンデス社会におけることわざは、60の「嘘をつくなかれ、盗むなかれ、怠けるなかれ」に尽きるようである。

#### [註]

(1) 筆者(青木)は、一九九四年度前期に奈良大学在外研修制度によりペルー中部大学大学院研究教授(人類学)としてクスコ県ウルバンバ郡ユカイ村でオーラル・ヒストリーの調査研究に従事した。今回の留学により、クスコ地方でもケチュア語の三母音表記(たとえば一九八五年の「公式アルファベット」)が、アンデス司牧研究所を含め、かなり定着してきていることが分かった。

しかし、本稿においては従来どおりの表記法を採用している。なお、本文中のoをu、eをiに置き換えれば、三母音表記となる。

(2) 直訳すれば「神様があなたに支払ってくださるだろう」という意味で、相手に感謝するときの言い方。ここでは全体で泥棒に金を盗られたときのいいまわし。

(3) 後半部分は説明になっている。

(4) 何もなければ音はしないはずだから、結果にはかならず原因がある、という意味。

(5) アンデス地方の代表的なfolkローレの形式のひとつであるワイノの歌詞にもなっている。

(6) 雄弁と訳したが、「話し上手」の場合もあるだろう。ともあれ、無口は、日本のように男子の徳目ではない。

(7) ④のことわざと同じ意味。

(8) アンデス地方には「埋もれた宝(tapado)」伝説、一種のインカの隠し財宝伝説があるが、ここではそういうものの発掘ではなく、むしろそういうような夢物語をいましめることわざ。

(9) 後半部分は説明になっている。

(10) 犬と同様に、おしゃべりな人間は肝心なときに役に立たない、という意味。

(11) 大の大人が転んだときにはやし立てるいいまわし。

(12) 歯を見るのは、家畜が健康かどうかを見るためである。

(13) 人間は死すべき存在だから、お金を儲けても仕方がない、それより正しく生きよう、という意味。

(14) スペイン語のことわざがケチュア語に同化したもの。

(15) 同右。「Dius」はスペイン語の「Dios」がケチュア語に同化したもの。



〔写真〕クスコ市内の記念像(キープカマヨクがキープを読んでいる場面。動物はビューマ。台座にはインカ期の貴族子弟を対象とした学校が描かれている。)

- (16) スペイン語のことわざがケチュア語に同化したもの。
- (17) 歌詞にもなっている。料理や旅行をしている最中に、なにか足りないものがあるときのいいまわし。なお、アセルガ菜とはフダンソウのことで、青菜の一種である。
- (18) たとえば、子供が親に学資を出してもらおうときのいいまわし。
- (19) いい若者がだんだん悪くなっていくのを見たときのいいまわし。
- (20) アリュイとは織機の縦糸、整経のこと。
- (21) 家族や共同体を意味するアイリュにおける中心的な徳目であり、日々の挨拶代わりに用いられるほどであった。そして、たとえば、ポリビアのコパカバーナやペルーのクスコにはその記念碑がある〔写真参照〕。

(22) キープとはいわゆる結縄文字のことで、紐の結び目により数を表わす。インカ時代に人口・貢納等の統計を整理するために利用された。それを読むためにキープカマヨクと呼ばれる専門官僚が置かれていた。

(23) このことわざは「必要なものが足りない」という意味だが、それとは別に、インカ時代には「王道」と呼ばれる公的目的地の道路網が整備されており、チャスキと呼ばれる飛脚制度やタンブと呼ばれる宿駅制度も発達していた。したがって、重要拠点には食糧や兵糧が貯蔵されていたため、大規模な兵力を軽装備で、敏速に移動させることも可能だった。

(24) アンデス土着の代表的な家畜はラクダ科のリヤマやアルバカであった。主として前者は運搬用で、後者は毛刈り用であった。

(25) ④のことわざと同じく、正しい生き方を説いたことわざ。

(26) ゆっくり気をつけなければならないときのいいまわし。祭礼のときにはよく、信仰の対象である聖者の像を神輿にかっいで行列することがある。ここではそれを指している。

#### 参考文献

- Alvarez Quispe, Luis (1988)  
*Chawaspas Runa Simi Yachana*, Lima.  
 IPA, Equipo de Quechua (n.d.)  
*Runasimi: Qosqo Qollaw, 25 lecciones*, Cusco, IPA.  
 青木芳夫・ヒロミノー||青木アンヘリカ(一九九二)  
 「ケチュア語のなぞなぞ」『奈良史学』第一〇号